

かわさき区の宝物シート

宝物No.	かわさきしやくしよほんちようしゃ
1-12	川崎市役所本庁舎

エリア	中央地区	シーズン	通年
	川崎駅新北	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物



所在地	川崎区宮本町1
問い合わせ	川崎市総務企画局総務部庁舎管理課 (建替えに関する問い合わせ先は、「補足・その他」欄に記載)
TEL	044-200-2081
FAX	044-200-3749
E-mail	
URL	
交通	JR川崎駅より徒歩8分



基礎情報

■川崎市役所本庁舎は、鉄筋コンクリート造りで、昭和13年(1938)から平成28年(2016)2月まで、戦前・戦中・戦後を通じて川崎市の本庁舎として使用されていた。
 ■大規模地震で倒壊する危険性があることなどから建て替えることとなり、平成28年(2016)に解体工事に着手。本庁舎の記憶を継承するため、いったん解体した後、正面の外観の一部を新しい庁舎の低層棟として新築復元することとなっている。

由来・エピソード

■高さ約36m、8階建ての高さに相当する時計塔は、市のシンボリック的存在として広く親しまれていた。
 ■時計塔は防空警備の用に供するため造られ、当初サイレンが設置されていた。戦時中は迷彩色をまとい空襲監視塔として利用されたが、電気が切れた時の警報用として、サイレンに代えて教安寺(小川町)の鐘が置かれていたこともある。教安寺の梵鐘は文政12年(1829)鑄造の大変貴重なもので、戦時中多くの寺の梵鐘が武器の材料として集められたが、市役所に保管されたことで難を逃れ、現在市内に残る江戸時代につくられた梵鐘の3つのうちの1つとして今も教安寺に残っている。戦後は、毎日午前8時から午後6時までの毎正時に、ウエストミンスターチャイムの電子音が奏でられるようになった。
 ■テラスのある車寄せや正面玄関、正面階段などが印象的な本庁舎は、「神奈川県の近代化遺産」報告書(平成24年(2012))でも、「工都川崎にふさわしいモダンな市庁舎であり、時代の最先端の表現を盛り込んだ公共建築といえる。」と評されている。
 ■正面玄関にあった柱時計は竣工記念に市民から寄贈されたもので、市庁舎とともに70年以上を歩み続ける産業遺産といえる。もともとはゼンマイ仕掛けの振り子時計だったが20年以上前に電気時計に改造され現在も現役で使用可能な状態にある。

補足・その他

■最も早く事業が進捗した場合には、平成34年度(2022)に新本庁舎、平成35年度(2023)に第2庁舎跡地広場が完成する予定。
 新庁舎の基本目標や施設配置計画など、新たな本庁舎の設計に向けた基本的な考え方を取りまとめた「川崎市本庁舎等建替基本計画」は、市のホームページに掲載されている。
 ■建替えに関する問い合わせ先
 川崎市総務企画局本庁舎等建替準備室
 TEL 044-200-0281
 FAX 044-200-2110

関連シート

(2-6)教安寺